

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月ユーロ圏PMI速報値

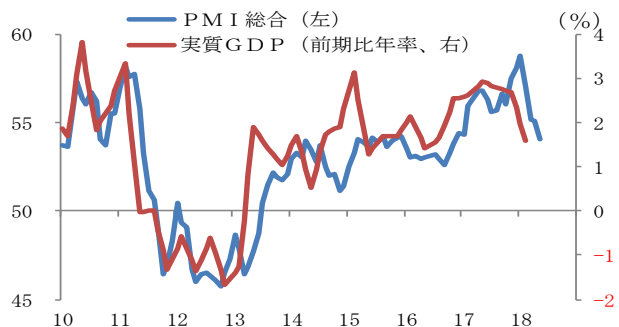
発表日：2018年5月23日(水)

～底打ち反転期待は空振り～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 5月のユーロ圏のPMI総合指数（速報値）は54.1と前月から1.0ポイント低下し、2016年11月以来の水準に改善モメンタムが鈍化した。1月の58.8をピークに4ヶ月連続で低下。業種別の内訳は、昨年12月に過去最高を記録した製造業が5ヶ月連続で、1月に約10年振りの高水準を記録したサービス業も4ヶ月連続でモメンタムが鈍化した。国別・業種別には、ドイツで製造業が5ヶ月連続、サービス業が4ヶ月連続、総合でも4ヶ月連続で鈍化し、2016年9月以来の水準を記録。フランスで製造業が2ヶ月連続で持ち直した一方、サービス業が大きく鈍化し、総合でも2017年1月以来の水準に鈍化。
- 発表元によれば、同指数の水準は前期比+0.4%の成長ペースに相当。1-3月期の急ブレーキ後も業況が一段と鈍っている。年明け後の業況は、大雪、ストライキ、インフル流行、イースター休暇時期のズレなど様々な特殊要因が下押しに働いてきたが、5月は例年に比べて休暇が多く、週末を挟んで連休にする社員が多かったことが企業活動にも影響した模様。こうした特殊要因はあるものの、製造業・サービス業ともピーク時から受注判断が明確に切り下がっており、基調としても業況に陰りがみられる。製造業の輸出受注判断の下げが大きく、米欧貿易戦争への警戒も影響している可能性がある。また、原油高や賃金上昇を反映し投入価格判断が加速した一方、産出価格判断が鈍化し、企業のマージン悪化が確認。ただ、雇用判断は引き続き底堅く、景気が一方的に冷え込む印象は持っていない。

■ユーロ圏：PMI総合と実質GDP



出所：IHS Markit、欧州統計局

■ユーロ圏のPMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

	2017				2018									
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
ユーロ圏 総合産出指数	56.6	56.0	57.2	57.0	55.7	56.7	56.0	57.5	58.1	58.8	57.1	55.2	55.1	54.1
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	57.0	57.4	59.7	58.2	57.4	58.1	58.5	60.1	60.6	59.6	58.6	56.6	56.2	55.5
ユーロ圏 サービス業業況指数	56.0	55.3	56.0	56.4	54.7	55.8	55.0	56.2	56.6	58.0	56.2	54.9	54.7	53.9
ドイツ 総合産出指数	56.8	56.1	57.6	57.2	55.8	57.7	56.6	57.3	58.9	59.0	57.6	55.1	54.6	53.1
ドイツ 製造業購買担当者指数	59.1	59.3	62.2	60.0	59.3	60.6	60.6	62.5	63.3	61.1	60.6	58.2	58.1	56.8
ドイツ サービス業業況指数	54.9	54.1	54.9	55.5	53.5	55.6	54.7	54.3	55.8	57.3	55.3	53.9	53.0	52.1
フランス 総合産出指数	56.7	56.0	59.1	57.7	55.2	57.1	57.4	60.3	59.6	59.6	57.3	56.3	56.9	54.5
フランス 製造業購買担当者指数	54.6	55.6	57.5	56.0	55.8	56.1	56.1	57.7	58.8	58.4	55.9	53.7	53.8	55.1
フランス サービス業業況指数	56.9	56.0	58.9	57.8	54.9	57.0	57.3	60.4	59.1	59.2	57.4	56.9	57.4	54.3

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。